

令和2年度第2回横浜市保健医療協議会 審議結果

開催日時:令和3年2月22日(月)

開催方法:書面開催

1 審議案件

議案1 会議の一部非公開について

【審議結果】賛成20名で定数の過半数を超えたため、原案通り了承。

議案2 令和2年度病床整備事前協議について

【審議結果】賛成20名で定数の過半数を超えたため、原案通り了承。

2 報告案件

資料1 糖尿病の重症化予防事業における地域ネットワークについて

糖尿病重症化予防ネットワーク検討会作業部会の実施結果について

資料2 横浜市依存症対策地域支援計画の策定について

資料3 病床整備の進捗状況について

資料4 こどもホスピス(在宅療養児等生活支援施設)の着工等について

資料5 令和3年度健康福祉局予算案について

資料6 令和3年度医療局予算案について

ご意見	回答
<p>【資料1】糖尿病の重症化予防事業における地域ネットワークについて 糖尿病重症化予防ネットワーク検討会作業部会の実施結果について（医療局がん・疾病対策課／健康福祉局保健事業課）</p>	
<p>【守分委員】 ➤対策が重症化リスクの高い人へのアプローチに特化しているように見受けられる。リーフレットの配布には、HbA1c6.4以下の人や糖尿病を発症しやすい50才台の人へ広げる事は出来るのでしょうか。一般市民の気付きを深めるような広報をお願いしたい。 ➤生活習慣病全般に取り組んでいるが、今回のような糖尿病のように一つ一つ掘り下げた方が良いのかも議論が必要。</p>	<p>日頃から、食生活等改善推進員の皆様には、食をきっかけとした健康づくり活動に取り組んでいただき、誠にありがとうございます。 この検討会・作業部会では、国レベルで対策が必要となっている糖尿病の重症化予防に焦点を当て、合併症が知られていない、治療中断が多いといった課題について、検討を進めてきました。 今年度は、地域で患者を支えるためのネットワーク構築の検討や啓発媒体の作成に重点を置いて取り組みました。 糖尿病の発症予防につきましては、働き・子育て世代を含めた幅広い世代に向けて、食事や運動等の生活習慣の大切さを啓発していきます。 引き続きの御協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>【資料2】横浜市依存症対策地域支援計画の策定について（健康福祉局精神保健福祉課）</p>	
<p>【宮地委員】 ➤パブリックコメントを受け取る意義は何でしょうか。今後の策定、修正等に活かすということであるならば、受付期間1ヶ月弱は短い気がしますが。</p>	<p>パブリックコメントは、広く市民の皆様から意見等をいただき、いただいた意見等を参考とさせていただきます。計画策定を進めるために行うものです。意見等の提出期間については、「横浜市パブリックコメント実施要綱・運用指針」に基づき、策定スケジュールを考慮して30日間としております。多くのご意見をお寄せいただけるよう、周知に努めます。</p>
<p>【資料3】病床整備の進捗状況について（医療局医療政策課）</p>	
<p>ご意見はありませんでした。</p>	
<p>【資料4】子どもホスピス（在宅療養児等生活支援施設）の着工等について（医療局医療政策課）</p>	
<p>【叶谷委員】 ➤大学としても運営協力させていただきます。</p>	<p>横浜子どもホスピスは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け少し予定が遅れましたが、この1月に施設の着工にたどり着くことができました。来年度秋の開所に向けて、着実に進めていきたいと思っておりますので、引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
<p>【中村委員】 ➤コロナ禍でもある中で、関係者の皆さん、周囲から応援している皆さんのおかげで、順調にスケジュールをこなしているようで、安心しました。</p>	
<p>【資料5】令和3年度健康福祉局予算案について（健康福祉局企画課）</p>	
<p>【資料6】令和3年度医療局予算案について（医療局総務課）</p>	
<p>【濱崎委員】 ➤Y-AEITの活動には期待しています。特に介護や施設等への調査・指導は平時から定期的に行われることが望ましいと考えます。一方で、調査員の方の専門知識や実情を踏まえた具体指導事項や指導する力についての支援も必要です。地域でいくつかの施設での立入調査の情報を共有しましたが、やや不明瞭な指導もあったときいています。</p>	<p>市内には、数多くの施設があります。そのため、介護施設等への感染予防策の指導等につきましては、効率的に継続できるよう、各所管課とも協力しながら対応していきます。 また、Y-AEITの対応についてご意見いただき、ありがとうございます。各施設で調査、指導を実施する際には、可能な限り具体的にお伝えできるよう、工夫してまいります。</p>
<p>【山口委員】 ➤コロナ禍の影響から「くらし」「貧困」「メンタル」の心配が。単身世帯も多く、世帯そのものの「孤立（化）」も懸念される。孤立防止への横断的プロジェクト創設を。 ➤「ヤングケアラー」の発見と見守り、支援、アウトリーチ施策を。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 関係部署と共有し、今後の事業展開の参考にさせていただきます。</p>
<p>【山口委員】 ➤「コロナ」で知った「保健所機能のせい弱さ。保健所は公衆衛生の司令塔ゆえ、ヒト・モノ・カネの充実を急がれたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 これまで、随時、区局において感染症以外の業務を担当する職員による応援や会計年度任用職員の採用、人材派遣の活用等により、保健所体制の強化に取り組んでまいりました。引き続き、体制強化に努めてまいります。</p>
<p>【その他のご意見】</p>	
<p>【叶谷委員】 ➤新型コロナへの対応は行政にリーダーシップをとっていく必要があると思っておりますので、よろしくお願いいたします。どの病院、施設、サービス事業所でも対応できるよう、正しい感染予防知識の啓発が重要と思っております。</p>	<p>（健康福祉局企画課） 行政の担う役割について、ご意見いただき、ありがとうございます。 医療機関、施設、教育機関等、各施設で感染予防対策を講じていただけるよう、ホームページでも、施設種別ごとに感染予防策の紹介を行っています。 引き続き、保健所として、感染拡大防止のための取り組みを行ってまいります。</p>
<p>【叶谷委員】 ➤ビッグデータ活用し、政策に結びつくよう、もっと活用のしやすい体制構築が必要と思っております。</p>	<p>（医療局医療政策課） ビッグデータ活用事業については、これまで庁内での積極的データ活用に関する意識醸成に努めてまいりました。医療局医療政策課・健康福祉局包括ケア推進課が主催し、各区役所やケアプラザの職員を対象としたデータ活用研修を産業医科大学公衆衛生学教室の松田教授を講師に迎えて毎年実施するなど、職員育成に力を入れています。今後も庁内の医療・保険・福祉に関する事業を所管する関係区局と連携し積極的にビッグデータを政策活用すべく尽力してまいります。 また、令和3年度には医療データ部分のオープンデータ化を予定しており、市民の皆さまが現状を把握することで、新たな政策提案につながることを期待しています。</p>
<p>【濱崎委員】 ➤コロナ禍にあってACPの啓発の必要性を強く感じています。早計なことはできませんが、普及についてよろしくお願いいたします。</p>	<p>（医療局がん・疾病対策課） 横浜市では、平成29年度に「横浜市人生の最終段階の医療等に関する検討会」を立ち上げ、ACPの啓発事業を推進しています。平成30年度には、人生の最終段階での医療・ケアについて、市民の方それぞれが元気なうちから考え、希望を意思表示できるよう、検討会での議論を踏まえ「医療・ケアについての『もしも手帳』」を作成しました。現在、すべての区の高齢・障害支援課、地域ケアプラザ、在宅医療連携拠点や、一部の薬局、病院等で配布しています。 また、令和2年度から、ACPについて正しく理解し市民に伝えられる人材を育成するため、介護・福祉・医療従事者等に向け、人材育成研修を実施しています。この研修の修了者が地域で啓発活動を実施することで、さらに市民への啓発を進めていきます。 ACPの啓発にあたっては十分に検討を重ねたうえで事業を展開しており、引き続き、これらの取組を着実に進めていきたいと考えています。</p>
<p>【守分委員】 ➤保健医療の施策が多岐にわたり、市民生活の安全・安心の確保の実現に向けられている事がわかり、心強く思います。</p>	<p>（健康福祉局企画課／医療局医療政策課） ご意見ありがとうございます。 引き続き努力してまいりますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>